

① 石海神社

祭神は舎人親王(とねりしんのう)。創立年月日は不詳ですが、楠の太木が生茂り、古灯籠や拝殿の絵馬が歴史を物語っています。本殿は明治32年(1899年)の再建です。



② 太子山公園 (D51)

太子町のほぼ中心に位置する太子山全体が公園になっています。桜の木がたくさんある「西播磨花の郷」として兵庫県に認定されました。また、山頂には聖徳太子立像があり、公園にはD51が保存されています。



③ 斑鳩寺

聖徳太子が、推古14年(604年)に飛鳥の豊浦宮(とゆらのみや)、今の橘寺において、推古天皇の御前にて勝鬘経を講話されました。推古天皇は大いに喜ばれて聖徳太子に播磨国揖保郡の水田百町を贈りました。聖徳太子はその地を「鵜荘」と名付けられ、1つの伽藍を建てられたのが斑鳩寺の始まりと伝えられています。聖徳太子は鵜荘を法隆寺に寄進されました。以後、法隆寺の荘園として千年近くにわたり栄えました。

太子町 サイクリング マップ

この町で、
素敵な旅を
ごゆるりと。

#ぼうじい
レンタサイクリング



町行事

① 太子春会式

毎年2月22日(聖徳太子の祥月命日)・2月23日に聖徳太子の縁日法要として開催されます。恒例の稚児行列に加え、多くの露店が立ち並び、職人の神様として慕われている聖徳太子を偲んで、植木市や金物市なども開催され、多くの参拝客でにぎわいます。



② 太子夏会式

毎年8月21日・8月22日に施餓鬼法要として開催されます。縁日が開かれるとともに、8月21日には納涼祭も開かれ、境内が大いににぎわいます。



③ 太子あすかふるさとまつり

毎年11月3日(文化の日)に開催しています。令和2年からは太子町総合公園陸上競技場で開催予定としています。住民の皆さんに聖徳太子ゆかりの地であることに誇りを感じ、「郷土愛」を育んでもらえるようなまつりとして実施しています。フリーマーケット、地元グルメを集めたコミュニティ広場などもあり、見て、聞いて、食べて、参加できる、見どころ盛りだくさんのまつりです。



④ ぼうじ石

太子町内の5か所の地点には「太子のはじき石」・「太子の投げ石」といわれる大きな石があります。聖徳太子が鵜荘に下向してこの荘園の境界を示すために置いた「勝示石」ともいわれ、このうち4か所(太子町の鵜北山根、平方、東南、東出)のものは兵庫県の史跡に指定されています。

僕のモチーフになった文化財だよ!



⑤ 歴史資料館

入口の八角堂を入ると、「太子の四季」・「太子町歴史絵巻」と、現在から過去へのタイムスロープが展示室へいざないます。展示室では、「大地に記された暮らし」・「法隆寺領鵜荘と斑鳩寺」・「水をめぐる争い」・「山陽道鵜宿」・「播電の盛衰」など、時代ごとにテーマを設定し、常設施設を展開しています。

太子町歴史資料館では、特に資料に恵まれている荘園文化を中心に、中世の人々の生活と、そして今とのつながりを調査・研究しています。



⑥ 徳道上人堂

大和国の長谷寺を建立し、また西国三十三所観音巡礼を始めて、人々に篤い信仰心を与え、仏教を広めた奈良時代の僧(徳道上人)の生誕地につくられたお堂。上人が使ったとされる産湯の井戸が今も矢田部に残されています。

